

〇ヒグマ管理計画平成29年度実施対策一覧(アクションプラン)(案)

		ゾーン1～2	ゾーン3～4	特定管理地
		対ヒグマ	①ヒグマの管理活動	<p>□農地ヒグマパトロール 概要:農作物被害を減らすため、猟友会員に委託してパトロールを実施。 場所:斜里町農地一円 時期:6月～9月 被害の発生時期に合わせて実施 実施者:斜里町</p> <p>□人材育成捕獲 概要:春期に捕獲頭数制限を設けて人材育成のために捕獲 場所:標津町 時期:3月 実施者:標津町</p> <p>□捕獲従事者の人材育成 概要:猟友会が実施する人材育成事業(説明会やイベント出展)を補助 時期:不定期 実施者:斜里町</p>
対人間	②利用者への対応	<p>□登山口におけるヒグマ情報収集 概要:知床連山におけるヒグマ目撃情報を収集するためのアンケートを設置、収集した情報を登山者向けに掲示。 場所:岩尾別温泉登山口、硫黄山登山口、羅臼温泉登山口 時期:山開き～10月 実施者:林野庁</p> <p>□安全機材の貸出 概要:クマスプレーなどを貸出 場所:知床自然センター・木下小屋・羅臼VC・ルサFH 時期:4月～11月 実施者:知床財団</p> <p>□フードロッカーの運用 概要:登山道の野営地に設置されているフードロッカーの運用 場所:羅臼平、三ツ峰、ニツ池、第一火口 時期:6月～10月 実施者:環境省</p> <p>□シレココの運用 概要:先端部地区利用者向けのウェブサイトを活用し、普及啓発・情報発信を行う 時期:通年 実施者:環境省</p>	<p>□知床ヒグマえさやり禁止キャンペーンの実施 概要:ヒグマに対するえさやりの危険性について、地域と協働して普及啓発を実施 時期:通年 実施者:環境省・林野庁・北海道・斜里町・羅臼町・知床財団等</p>	<p>□知床五湖の利用調整地区制度の運用 概要:地上遊歩道利用者にレクチャー受講や引率者の同行を義務付け 場所:知床五湖地上遊歩道 時期:4月～11月 実施者:環境省、知床五湖の利用のあり方協議会</p> <p>□知床五湖の高架木道の運用 概要:ヒグマ安全対策を施した高架木道の運用、維持管理 場所:知床五湖園地 時期:4月～11月 実施者:環境省</p> <p>□フレベの滝遊歩道の閉鎖 概要:ヒグマによる事故防止のため、出没状況に応じて遊歩道の閉鎖を行う。 場所:フレベの滝遊歩道 時期:通年 実施者:北海道、斜里町、知床財団</p> <p>□カムイワッカ監視員の配置 概要:利用者に対する指導やヒグマ出没情報の収集のため監視員を配置 場所:カムイワッカ湯の滝 時期:7月～9月 実施者:環境省・斜里町・斜里町観光協会</p> <p>□看板の設置 概要:車道沿いにヒグマ注意看板を設置 場所:国立公園内の道路沿い 時期:4月～11月 実施者:環境省</p> <p>□カメラマン対策 概要:町道沿いに監視員や監視員小屋を設置、駐車禁止ロープを設置、撮影にあたってのルールを呼びかけ 場所:町道岩尾別温泉道路 時期:9月～11月 実施者:環境省・林野庁・北海道・斜里町・知床財団</p> <p>□駐車帯の閉鎖依頼 概要:ヒグマ生息地内での無秩序なキャンプなどヒグマによる事故防止のため、道路管理者に対し駐車帯の閉鎖を依頼 場所:幌別駐車帯、フンベ駐車帯 時期:9月～11月 実施者:斜里町</p> <p>□キャンプ場への電気柵設置 概要:ヒグマの侵入防止用の電気柵を設置 場所:湯の沢キャンプ場 時期:6月～9月 実施者:北海道</p> <p>□キャンプ・車中泊の自粛要請 概要:ヒグマ誘引防止のため、キャンプや車中泊の自粛を要請 場所:岩尾別温泉 時期:4月～11月 実施者:環境省、林野庁、斜里町、知床財団</p> <p>□釣り人対策 概要:釣り人団体と協働し、平成28年度と同様の対策(残滓回収ステーションの設置等)を実施。 場所:幌別川河口 時期:8月～11月 実施者:環境省・林野庁・北海道・斜里町・知床財団</p>
		③地域への対応	<p>□施設を通じた情報提供 概要:施設運営を通じてヒグマ情報を発信 場所:世界遺産センター、知床自然センター、羅臼VC、ルサFH、五湖FH、知床森林センター、道の駅 時期:通年 実施者:環境省・林野庁・斜里町・斜里町観光協会</p>	<p>□電気柵の維持管理(ウトロ・斜里) 概要:市街地へのヒグマ侵入防止のための電気柵を運用 場所:ウトロ市街地周辺、斜里市街地周辺 時期:4月～12月 実施者:斜里町</p> <p>□ヒグマの出没防止のための除草 概要:ヒグマの市街地への進入を容易にする可能性のある市街地周辺の草むらを除草 場所:ウトロ・羅臼市街地 時期:4月～12月 実施者:斜里町・羅臼町</p>